



西原町

きかばだより!!

9 月議会



94
No.

今回の表紙題字

西原町上原

たけ とみ たか こ
武富 誉子さん

2022(令和4)年
12月1日発行



第7回世界のニシハランチの集い (令和4年11月2日(水)開催)

とう け や ふい じゃみていん にしはらんちゅ ぬ うむ い や ふいと ち

渡海や隔じゃみていん西原人ぬ思いや一ち

うみ へだ とお はな にしはらんちゅ おも
意味：海を隔てて遠く離れていても西原人の思いはひとつですよ

12月定例議会 令和4年12月2日(金) 開会予定

新しい議会の顔です！

令和4年9月11日に西原町議会議員選挙が実施され、新しい顔ぶれで第8回9月定例議会（9月28日から10月19日の22日間）が開催されました。



副議長



大城 誠一
(与那城区)

新議長 ごあいさつ

私たち19人の西原町議会議員は、町民目線を忘れず、町民の福祉向上を目指し、住んでよかったと思える「まちづくり」の邁進と西原町の発展のため、町民の信託に応えるべく議会の機能を駆使し、議会活動や議員として日々行動してまいります。

今後とも、議会活動情報の内容充実に努めてまいりますので、一層の町議会へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いします。

議長



大城 純孝
(兼久区)



真栄城 哲
(翁長区)



与儀 清
(津花波区)



大田 實
(平園区)



儀間 駿太郎
(兼久区)



山城 勝貴
(棚原区)



伊集 悟
(津花波区)



長浜 ひろみ
(西原ハイツ区)



伊計 裕子
(平園区)



喜納 昌盛
(上原区)



新田 宗信
(平園区)



與那嶺 良樹
(幸地区)



新川 喜男
(小那覇区)



宮里 洋史
(桃原区)



屋比久 満
(美咲区)



大城 好弘
(小波津区)



仲松 勤
(内間団地区)



前里 光信
(小波津団地区)

各種委員会の構成

議会組織図

西原町議会では、3つの常任委員会と1つの特別委員会が設置されています。

常任委員会はその部門に属する事務調査及び議案、請願等を権限とし、特別委員会は臨時特定の事件について設置され、当該審査等が終了すれば消滅します。

議長（1人）

議場の秩序を保持し、議事を整理し、議会の事務を統理し、議会を代表する。

（大城 純孝）

副議長（1人）

議長に事故あるとき、または議長が欠けたとき、議長の職務を行う。

（大城 誠一）

任期：令和4年9月28日
～令和8年9月27日

※◎は委員長
○は副委員長



総務財政常任委員会

（6人）

総務部（総務課、企画財政課、税務課、町民課）、会計課、選挙管理委員会、監査委員及び他の常任委員会の所属に属しない事項。

◎（長浜 ひろみ）○（喜納 昌盛）
（前里 光信）（与儀 清）
（新田 宗信）（伊計 裕子）

建設産業常任委員会

（6人）

建設部（土木課、都市整備課、産業観光課、上下水道課）及び農業委員会に関する事項。

◎（宮里 洋史）○（真栄城 哲）
（仲松 勤）（新川 喜男）
（與那嶺 良樹）（大田 實）

文教厚生常任委員会

（6人）

福祉部（福祉課、こども課、健康保険課）及び教育委員会に関する事項。

◎（伊集 悟）○（山城 勝貴）
（大城 好弘）（大城 誠一）
（屋比久 満）（儀間 駿太郎）

※常任委員長+各常任委員会より1人

議会運営委員会

（6人）

会期の初めの議会において選任する。議会の運営に関する事項・議会の会議規則、委員会に関する事項・議長の諮問に関する事項等調査を行い、議案・陳情等を審査する。

◎（宮里 洋史）
○（儀間 駿太郎）
（長浜 ひろみ）
（前里 光信）
（伊集 悟）
（真栄城 哲）

議会広報調査特別委員会

（6人）

議会議事公開の原則の趣旨により、議会の一般質問及び議案審議並びに委員会活動等を住民に正しく周知し、住民とともに歩む議会活動の推進を図るため「議会だより」を発行する。

◎（山城 勝貴）
○（伊計 裕子）
（与儀 清）
（大城 誠一）
（與那嶺 良樹）
（大田 實）

南部広域行政組合議会議員（2人）

（喜納 昌盛）（伊計 裕子）

沖縄県後期高齢者医療広域連合（1人）

（新川 喜男）

議会選出監査委員（1人）

（屋比久 満）

民生委員推薦会の委員（1人）

（大城 誠一）

東部消防組合議会議員（3人）

（新田 宗信）（仲松 勤）（儀間 駿太郎）

沖縄県介護保険広域連合（1人）

（山城 勝貴）

都市計画審議会委員（3人）

（前里 光信）（大城 好弘）（與那嶺 良樹）

西原町社会福祉協議会評議員（1人）

（伊集 悟）

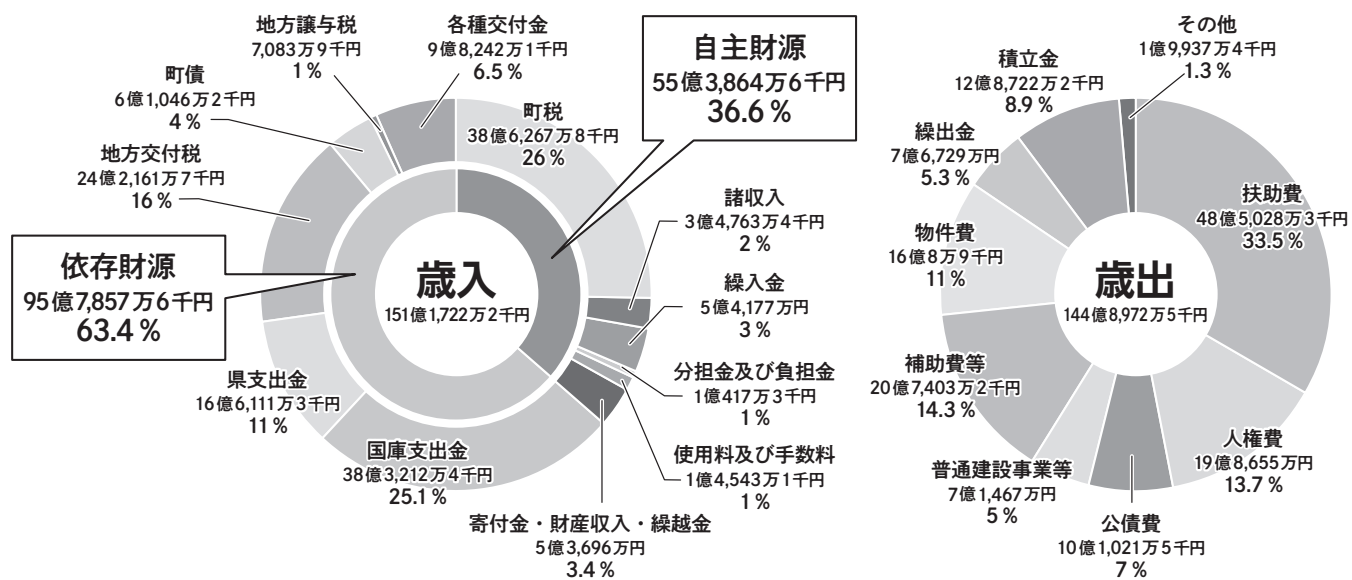
第8回 定例会 令和3年度 決算審査



第8回定例会は、9月28日から10月19日まで22日間の会期で行われ、一般質問、補正予算、条例改正や令和3年度決算などの審議を行いました。

決算では決算特別委員会を設置し、該当事項を所管する各常任委員会に付託し、財務処理の全体を通して、その執行が適正、公平かつ能率的、合理的に行われたか否かの適否を審査しました。その結果、全議案について、全会一致で認定しました。

また、4日間にわたる一般質問では、16人の議員が質問に立ち、学童クラブの支援やこどもの居場所、冠水問題、西地区区画整理事業など、多岐にわたる活発な論戦を展開しました。



令和3年度 一般会計・特別会計決算の状況

区 分	歳 入			歳 出		
	決算額	前年増減額	前年比	決算額	前年増減額	前年比
一般会計	151億1,722万2千円	▲21億9,109万5千円	▲12.7%	144億8,972万5千円	▲23億4,616万1千円	▲13.9%
特別会計						
国民健康保険	42億5,592万円	1億8,653万5千円	4.6%	47億3,719万7千円	▲1,460万4千円	▲0.3%
土地区画整理事業	6億3,474万5千円	3億3,104万6千円	109.0%	6億2,055万9千円	3億1,913万1千円	105.9%
後期高齢者医療	2億9,034万円	▲258万3千円	▲0.9%	2億8,975万3千円	▲248万9千円	▲0.9%

令和4年度 一般会計 補正 予算

歳入歳出それぞれ5億9,670万8千円を増額し、
総額 136億9,247万6千円とする。



令和4年度 特別会計 補正 予算

国保特別会計

歳入歳出それぞれ160万円を減額し、
46億849万3千円とする。

水道事業

収益的収入及び支出それぞれ30万1千円を増額し、
8億6,088万2千円とする。

公共下水道事業

収益的収入を1,756万8千円増額し、
4億 626万8千円とする。
収益的支出を1,791万6千円増額し、
3億9,848万2千円とする。
資本的収入を844万3千円減額し、
3億3,356万9千円とする。
資本的支出を4万5千円減額し、
4億6,419万9千円とする。

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



いじゅ さとる
伊集 悟 議員

差、貧困の連鎖に関わるというデータ

を持ち合せてないが10歳を境に掛け算

九九が始まったり境は確かにあろう。

学級間差がないよう指導しており、大

事なことは担任の見取り（アイチエツ

ク）、授業を整えることと考えている。

財政も改善傾向、一括交付金も

継続された。30年に減らした学

習支援を拡充できないか。貧困の連鎖

を断つ一手でもある。貧困対策予算を

充てるなど工夫ができないか。

教育長 今後、ソフト面に限らずハ

ード面も改善しなくてはならないが、

総合的に判断し、拡充の方向に持って

いけたらと考えている。

こども課主幹 貧困の予算の中で学

習支援に使える補助金等のメニューが

あるかについて今後確認をして活用が

できるのかと検討していきたい。

■ 大人が信頼されていない！

新たな行政組織で子どもを

守るべき！

問 金沢市の調査でいじめを受けて

も2、3割が相談しないという

状況がある。理由は何だと思うか。

教育長 相談することによる仕返し

が怖い、いじめに対する認識の欠如、

子ども同士の良好な人間関係に弱さ

あるのだろうと考えている。

問 私もそう思う。裏付ける調査も

ある。これは学校、保護者、私

たち大人に対する信頼が低くなってい

る表れ。このいじめ問題を学校だけ

で初動から解決まで全てやることに限界

があるのではないか。大阪の寝屋川市

がいじめは人権侵害の立場から行政が

解決に直接関わる先進の取組みがある

が検討できないか。

教育総務課主幹 学校側と行政が二

重で対応する仕組みであると寝屋川市

に確認した。今後、情報を収集して

うまく利用できるものは検討したい。

その他の質問

○放課後の居場所・学童クラブの支援に

ついて

監察課は必ず解決します！
いじめだけでなく、学校生活や先生のことなど、どんなことでもご相談ください！

これっていじめかも？と思ったら……

いじめ通報促進チラシ

- ・市内の小中学生に毎月1回配布！
- ・保護者の方からの通報も受け付けます
- ・下記のリンクからダウンロードできます

じっくり考えながら相談したい

メール
・メールアドレス
kansai@city.neyagawa.osaka.jp

ケースワークと直接話したい

フリーダイヤル
・TEL 0120-7830-66
※平日9時～17時（土日祝日を除く）

「もっと寝屋川」を使っている

市公式アプリ
・24時間いつでも通報が可能。

気軽に相談したい

LINE
・QRコードを読み取り、画面に従って選択・入力。

大阪府寝屋川市の「いじめゼロ」への先進の取り組み

■ 施政方針について聞く

問 各自治会の自主的な地域活動をどのように支援していくのか。

総務部長 行政区運営補助金の交付

や一般財団法人自治総合センターのこ

ミュニティ助成事業を活用して支援し

ていきたい。



あら た そう しん
新田 宗信 議員

建設部長 農家の農業を一部補助や

井戸等の施設を補助、さとうきびの古

株更新を行った方への奨励費としてさ

とうきび振興対策事業19万8,432

円、畜産農家の安定生産を支援する優

良種畜導入事業及び優良仔牛生産奨励

事業を補助し、支援している。

問 モノレールの延伸及びモノレー

ル駅の再開発を含めた都市基盤

その他の質問

○地産地消をどのように育むのか

○西原町の観光資源に関する問題

○平園の避難道路でもある町道呉屋上屋

部・小那覇線の現状と課題

○町道呉屋上屋部・小那覇線沿いのア

パート建設に伴う下水道工事の際のひ

び割れへの説明

○小波津部落から消防署へ抜ける町道小

波津・翁長線の間地点で慢性化して

いる湧水による水害対策について

○里道を含めた道路整備について

問 各自治会のコミュニティ施設（集会所・公民館等）の必要性和役割についてどのように考えているのか。

総務部長

各自治会のコミュニティ施設は地域住民が集い、自主的な地域活動などを展開する場であり、地域コミュニティの活性化を図る上で当該施設の必要性は高いものと考え

ている。

問 小波津川の氾濫に関する対策はどのように行ったか。

総務部長

職員の初動体制マニュアルの一部見直しなどを行い、役割分担を再確認している。

問 生産農家の安定出荷をどのように支援したのか、その実績を聞く。

施設の必要性。

町長

モノレール延伸の必要性は非常に高いものと考えており、再開発等の都市基盤整備事業については今後のまちづくりの事業展開においても重要になってくると考えている。



問

町内小・中学校での「しまくとぅば」の普及、継承の現状は。

教育部長

町内小中学校の国語や家庭科、社会、総合的な学習の時間でしまくとぅば読本を活用して授業を展開している。小学五年生、中学二年生全員にしまくとぅば読本を配布。

その他の質問

○第一回上原地区キャンパス跡地利用推進協議会の内容について
○町議会議員選挙結果の評価と同日の県知事選挙結果に対する町長の考えは

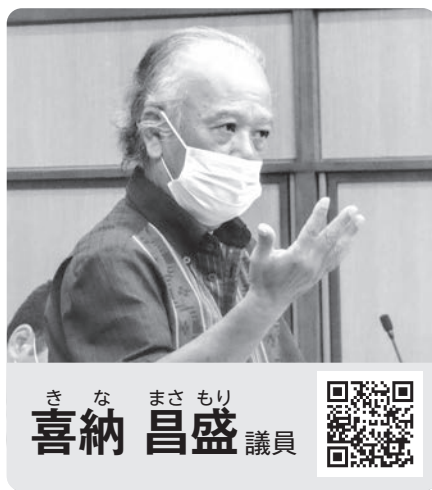
町政全般について

問

西原町内の新型コロナワクチン接種の現状は？

福祉部長

10月3日時点で1・2回目接種完了者2万6,702名、接種率75%、3回目1万8,846名で53%、4回目7,041名で約20%、



き な まさ もり
喜納 昌盛 議員



問

「西原さわふじマルシェ」の指定管理者からの過年度事業報告の精査とその評価は。

建設部長

5月26日に指定管理者のJAおきなわ西原支店より提出され、6月29日の町農水産物流通。加工・観光拠点施設運営委員会で報告を受けた。実績販売額は3億6,260万円、目標販売額を4億円と設定するも未達成であった。改善方針を検討し、今後の事業運営を図る。

問

今年度の町中央公民館建設の基本計画策定の計画は。

総務課長

基本計画の策定、詳細事業費の試算、民間事業者の参入意向調

問

「世界のニシハランチュ大会」に向けた取組みは。

総務部長

11月2日、第7回世界のニシハランチュの集いを開催。海外から100名程度参加予定。



一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



■学校給食費無償化について

問

学校給食法第一条に「食育の推進」がその役割と目的として規定されている。西原町においては保護者が学校に収める納付金が高額となっており、「子どもの貧困」や昨今のコロナ禍により生活困窮に陥る保護者も

少なくなく、貧困対策はもとより子育て支援・少子化対策としても小中学校の給食費の無償化を強く要望する。

教育部長

学校給食費の無償化を行うには約1億9千万の財源が必要となり現時点での学校給食無償化の実施は厳しいものと考えている。

町長

国の要請あるいは県への要請を含め、状況を見ながら今後いろいろな要請活動を展開したい。

■都市計画区域編成での町づくり

問

西原町の活性化・発展を鑑み土地利用に対する町長の見解を問う。

町長

現在西原町では那覇広域都市計画区域区分の変更において144

haの市街化区域の拡大を進めている。令和6年度にかけて西原町の土地計画マスタープランの見直しを行う予定。居住・工業・商業地域に加え観光も含めた土地利用を図ることが本町並びに東海岸地域の発展に寄与すると考えている。

問

西地区区画整理事業の進捗と課題。

建設部長

令和4年9月時点で進捗率54・7%。課題としては沖縄電力の鉄塔移設と沖縄振興公共投資交付金の区画整理事業予算配分枠が約1億前後となることから事業進捗への影響がある。現在、令和8年までの完了予定が令和13年まで事業延長せざるを得ない状況となり地権者に迷惑をかけることから従前地及び仮換地とも使用収益が

■発達支援保育について

問

発達支援保育をすればするほど、保育園の運営に負担がかかる状況がある。これに対して財政支援をしていく必要があるのではないか。

町長

発達支援が年々増加傾向にあり各市町村でも大きな課題になっている。予算措置についても様々



問

一括交付金、ハード交付金から社会資本整備総合交付金への移行に向けて調整を行っていると思うが、現在の状況について聞く。

町長

社会資本整備総合交付金への移行に向けて、県と総合事務局と調整中ではあるが、去る6月14日に西原西地区土地区画整理事業、早期完成をさせるための安定的な予算確保につい

無い土地については令和4年度から固定資産税100%減免を実施することにした。

■農業振興について

問

下限面積を現行の900坪から500坪へ変更することを強く要望する。

農業委員会事務局長

農地法の下限面積の要件は今年度の5月国会のほうで農地法を撤廃ということで交付されている。

その他の質問

○道路整備改良事業について
○MICEの早期実現に向けて



備が可能になるものと考えている。

問

4億円の予算がつくことであれば、令和何年度に終わることができるのか。

都市整備課主幹

保留地処分金を併せてハード的な整備は令和13年に終わることができるスケジュールになっている。

な形で支援を行ってきた。その内容等を精査しながら、重点的な部分に予算を充てていく形を取っていきたいと思う。

■子どもの居場所事業について

問 課題が複雑化してきている。実績に応じて臨機応変な補助の在り方は検討できないか。

こども課主幹 自治会の中での課題やいろんな支援が必要な子どもが芽出しをしてきており、活動をさらに活発化する必要が出てきている。次年度活用できそうな補助金や補助の在り方についても併せて検討をしたい。

■西原西地区土地区画整理事業について

ての要請書を町から、意見書を議会から、関係大臣等に提出し、要請行動を展開してきた。

問 社会資本整備総合交付金へ移行した場合における進捗に対する影響を問う。

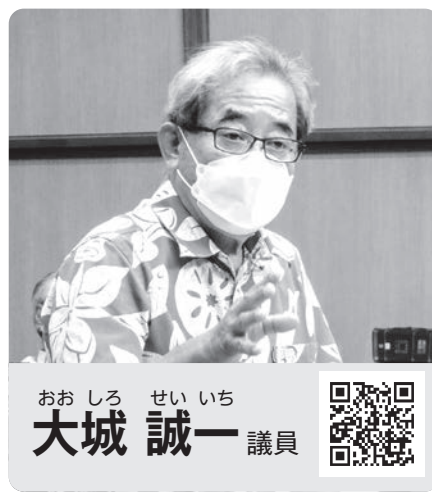
建設部長 社会資本整備総合交付金に移行ができ、希望額、毎年4億円程度の補助事業費が配分されれば早期整

捗を見ながら市街化の拡大が可能と考えているとのことだが具体的な取り組みは。

建設部長 徳佐田B地区は特定保留地区と定めており、地区計画の導入により、市街化区域編入が可能になるがそのためにはB地区の地区計画の都市整備計画を定める必要がある。

問 徳佐田A地区は未開発地域としてマスタープランに指定しているので、今後の見直しで開発区域として編入されれば事業化は可能だと思われることだが、事業化するための具体的取組みは。

建設部長 町都市マスタープランでは、徳佐田A地区は市街化調整区域に位置付けられている。今年度から令和6年度にかけて、都市計画マスタープ



おお しろ せい いち
大城 誠一 議員

問 食事の提供は。

総務部長 運営法人の給食調理場において一括調理された給食、おやつを提供することになる。

問 町内全域から入園できる。どの様にして校区内の子どもたちを優先していくのか。

こども課長 5歳児に関しては在園の方を優先して、さらに坂田校区の方を優先していきたい。3・4歳児に関しては、校区優先ではあるが、それより点数が高い方は考慮しないといけない。

■徳佐田地区土地区画整理事業

問 徳佐田B地区は、今後住民合意をとりながら事業化に向けて進



その他の質問

- 待機児童問題について
- 保育園の給食費、学校給食費について
- 重層的支援体制整備事業について

ランの改定作業において、土地利用構想を検討していく。改定後は面整備を検討した土地利用見直しに向けて、地権者の勉強会等を開き、地権者が事業に対する関心や意識向上に努め、組合設立に向けた取組みを行ってほしいと考えている。

その他の質問

- 西原中央公民館再編整備について
- 東崎・兼久線街路整備事業について

認定こども園児募集のチラシ

5歳児 90名 (199名)
4歳児 30名 (199名)
3歳児 15名 (199名)

募集期間：令和6年10月15日(土) 9:00~12:00

TEL:098-945-5311

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録(反訳文)に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



伊計 裕子 議員



75年前から変わらない日本の保育士配置基準！

問 国が認可外を許容していることに対する町の認識を聞く。

福祉部長 児童福祉法上の保育所に該当し、同法第59条2により、設置の届出が必要。国が定めた保育指針に準

じた保育の適用がない分、独自性を持った保育を行うことができ、保育者ニーズも一定程度あり、待機児童の受け皿にもなっているため、その存在はまだ大きい。

問 日本の保育士配置基準は、1947年から変わっていない。町として独自の配置基準を設定すると同時に、国に対して他の先進国並みの基準にするよう要請してほしいが。

福祉部長 今本町の課題として、保育士不足による待機児童の現状がある。配置基準を見直すことで待機児童がさらに増えることとなると、目下の解決課題が困難になるため、見直し等については、今のところ予定はない。



バイパス・橋便利さの上に安全対策を！

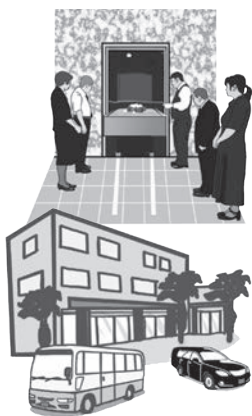
問 朝夕の混雑時、与那原バイパスへの右折車両が赤信号で我謝交差点付近までつながったまま止まり、青信号の車も前に進めず人の横断等危険な状況だとの声が寄せられている。対策が必要ではないか。

建設部長 南部国道事務所にも伝えられており、今年度の我謝交差点付近の与那原交差点向けにおいて拡幅工事を行う予定だと聞いている。

問 小波津6号線から平園地域への角がますます生い茂り、橋が開通したため危険が増している。地主の方への協力要請が必要ではないか。

建設部長 小波津与那城橋開通に当

効な状況になった場合には積極的に取り組んでいきたいと考える。



▼南斎場



その他の質問
○平和行政について
○物価高騰対策について



たり、交通量が増えると想定していたため、片面だった道路反射鏡を両面反射鏡へ改修。また道路に飛び出した草木などは、その都度、草刈りを実施している。

火葬場建設の必要性を問う

問 中部広域火葬場建設推進協議会は、現在どのような活動をしているのか。解散しているのか、休止しているのか聞く。

町長 中部南地区火葬場斎場建設検討委員会は、平成28年2月22日に解散となっている。



大城 好弘 議員



問

西原町、中部南広域には火葬場がないため、火葬まで一週間から10日間も待機、また北部で火葬をする事態となり、住民は困惑している。本町の取組みについて問う。

町長 火葬場につきましては、新型コロナ感染症の影響でさらに拍車がかかり、待機が長期化している状況であり、広域火葬場の重要性を痛感して

いる。

提案

広域火葬場の建設は地域の理解を得ることが難しいが、本町の工業団地内に積極的に誘致を促進すべきと考えるがどうか。

町長 候補地の一つと検討する上でも、建設費が膨大となるため、広域的な取組み、建設に有効な補助金を見出す必要があるが、これらが建設に有

の効果、周知、事業量の増加など費用対効果を含め検討を要する。

の效果、周知、事業量の増加など費用対効果を含め検討を要する。

■我謝公民館前の交通安全行政を質す

町長 (1)子供たちが安心して通学できるように、安全対策を聞く。

(2)車道側に、道路標識や路面標示等の要請が我謝自治会からあるが見解を聞く。

問

町長 (1)町道我謝・小波津線は道幅が4m程度の狭小箇所もあり、安全確保を図るため、グリーンベルト等も含め自治会と相談しながら検討する。

(2)公民館から国道向けの急カーブ手前は、安全性に鑑み、既に徐行の路面表示を実施した。

■道路行政を質す

問

兼久のマックスバリユ側の工事が始まるうとしているが、(1)同区間に放置されている自動車、バイクの撤去について見解を聞く。(2)進捗状況を聞く。

建設部長 (1)9月時点で車両8台、バイク28台が放置されていた。代

執行令書を義務者に通知したところ、残り3台を確認。今後は行政代執行法に基づき進める。(2)令和5年1月完成予定。

■学校部活動を質す

問

中学校の指導者の成り手不足について、スポーツ庁で議論されているが(1)本町の部活動の顧問や



▲いなんせ高苑



監督の状況を聞く。(2)2023年、2025年を「改革周知期間」と位置付けているが、本町の取組み状況を聞く。

教育部長 (1)配置されている町内学校は、西原中学校で21部活中、9部活で配置率は43%、約6割の部活で専門外の教諭が配置されている。西原東中では、17部活中、7部活で配置率41%、約6割が専門外の教諭が配置されている。(2)本町では他市町村の事例を参考に情報収集に取組んで検討する。

監督の状況を聞く。(2)2023年、2025年を「改革周知期間」と位置付けているが、本町の取組み状況を聞く。

■公費負担使用者を聞く

問

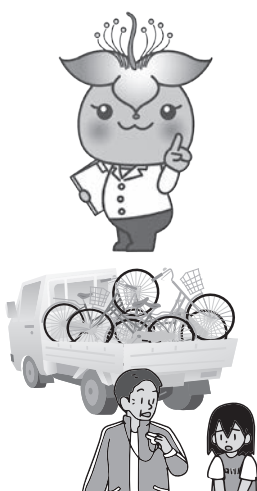
(1)立候補者22名中制度を利用したのは何名か聞く。(2)制度の問題点や反省点を聞く。

選挙管理委員会事務局長 (1)17名

が同制度を利用した。(2)立候補しやすい環境を作る目的であったが、制度

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録(反訳文)に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



まえ さと こう しん
前里 光信 議員



■空家の有効活用について

問

空家の有効活用について沖縄市などは11団体に協定を結んで対応しているが、西原町としてはどのような計画があるか。

建設部長

平成28年度の空家調査では、72件の空家を確認している。町へ

■冠水被害の抜本的解決を

問

小那覇の冠水について抜本的な解決策を伺う。

建設部長

今後は抜本的な対策として、沖縄県中部土木事務所維持管理班が作成している浦添西原線、嘉手刈地区冠水対策について、今後県と協議しながら、冠水対策を進めていく。

の相談は隣地の空家から草木の進入などの相談があり、権利者进行搜索し適正な管理を促しているのが現状である。前回の調査から6年が経過しているため、町内空家の再調査の検討を行い、ある市町村の事例を参考に検討していく。

■認知症の対応について

問

ある大学の先生の見解では、日本には約600万人の認知症の患者がいるとのこと、各自治会でも大きな課題と思うが、町は特に対策があるか。

福祉部長

認知症になっても安心して暮らせるまちを目指し、各自治会のいいあんべー共生事業で認知症講和や認知症サポーター養成講座を開催し、

認知症への正しい知識を理解を持てるよう取組んでいる。さらに安心して外出できる体制づくりとして道迷いになる可能性のある方の情報を事前に役場へ届け出てもらい、関係機関と情報共有を行う。また、認知症高齢者等見守りを強化する為、行方不明になった際の早期発見に向けて、衣服や持ち物等に貼るQRコード付きの見守りシールの配布を今年9月から行っている。

■高齢化の対応について

問

元気な高齢者は出来るものなら働き場を求めたいという思いに、町はどのように対応する予定か。

建設部長

働く意欲のある高齢者が長く現役で活躍する事は、地域社会の活力維持はもとより高齢者自身が健康

も保護者からも非常にいい取組みだと、評価を受けている。

■軽石被害支援策

問

軽石被害の現状と県の緊急支援事業について西原町の取組みを伺う。またコシ器については国・県の補助メニューがなく各自治体で対応しているが。

で豊かな暮らしを実現する上で大変重要である。シルバー人材センターの支援、また雇用サポートセンターでの支援のプログラムを実施して、就職支援を実施している。



その他の質問

- 新型コロナウイルス感染症の対策、特に12歳以下の子どもたちへの対応について
- 世界のニシハランチュ大会について
- 少子化による小・中学校の運営について
- 高齢者にやさしいまちづくりについて
- 台風の影響を受けた農家への支援について

用の2分の1の金額を支援補助として検討をしている。

その他の質問

- ゴミ処理場整備
- 自治会子どもの居場所支援
- 医療的ケア児支援体制
- 給食フードロス
- 西地区区画整理予算要求

教員の働き方改革

問

先生方の学校現場の働き方改革だが、今回コロナの中で休み時間を短縮して下校時間を早めた。保護者からもよかったという意見もあったが、現場の先生も、負担軽減に繋がると思うがその点はどうか。

教育総務課主幹

御指摘のとおりだ

と思う。実はコロナ禍で子供たちの接触を少しでも短くしようということ

で、校長先生や委員会のほうと相談して、例えば45分のうちの25分を後半のほうに持っていくって、子供たちの昼休みを20分にして早く帰る。実は学童のほうにも、そのような連携を図っている。やはり迎える時間が変わるので、そういうことに関して、実は職員から

町長

軽石の漂着被害の現状について、与那原・西原町漁業協同組合、沖縄県近海鮪漁業協同組合から支援要請がある。県の軽石被害に係る緊急支援事業については、今後、他市町村の動向を注視しながら検討していく。また、海水コシ器については、国・県の補助メニューがない方に対し、西原町の支援対策として海水コシ器の本体費



置すべきではないか問う。

建設部長

小波津川沿線の小波津川北線以下、3路線は、植樹桧、植栽等の計画はないが、小波津川河川敷内へ植樹が可能なかを含め、県と協議をしていきたいと考える。また橋梁が再整備された箇所へ優先して道路照明灯を設置しさらに防犯灯に関してはその都度検討していきたいと考えている。

公的斎場について問う

問

高齢化社会と言われた1970年代以降、高齢者人口は年々増加を続け、死亡者もそれに比例して増加していることから今後公営斎場建設の必要性は高く特にコロナ禍の需要も多く機運は既に熟している。どのように考えるか問う。

町長

現在火葬について新型コロナウィルスの影響でこれまでの火葬待ちに拍車がかかり待機日数が長期化している状況であり、広域火葬場の重要性を改めて痛感しているところであ

る。今後公的斎場に今後について引き続き近隣市町村と意見交換をしながら、広域市町村拡大や火葬場の建設に有効な補助事業がないかどうか引き続き調査していきたい。



今後の小波津川の展望について問う

問

小波津川の工事は順調に進捗していると思われます。ゆくゆくは街路樹も植樹され町民の目を楽しませる遊歩道になると思うがどのような木を植樹するのか。防犯灯、街灯を設

問

マスコミは2か月ぐらい前の新聞で、西原町の発展有望を非常に評価している。しかし地域の住民は幸地インター、浦添西原周辺のアクセス道路等がわかりづらいようであり観の様子を広報にしはら等に掲載すべきでは。

インフラ工事の概観について

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



よぎ きよし
与儀 清 議員

ることもあり町民にとって精神的な負担、金銭的な負担と大きくのしかかるわけで町当局は町民のこの苦難にどう応えるか。

町長 現在火葬場については、新型コロナウイルスの影響もあり、これまでの火葬待ちに、さらに拍車がかかり待機日数が長期化している現状であり、広域化相場の重要性を改めて痛感している。

■葬祭場建設について

火葬場問題は西原町民にとって一番深刻である。昨年頃から「火葬場が混み合い、自宅などで遺体を安置する期間が長引き、遺族の負担になっている」という話も出て、亡くなってから火葬まで一週間近くかかる。

問

本町の姿勢として広域化の計画が出ない限り、葬祭場建設に着手しない立ち位置か。

町長

建設候補地の課題や、補助金等の活用など、財源的な課題等の理由により5市町村での建設を断念した経緯があり、昨年10月に宜野湾市が実施した前回の検討委員会の構成市町村

問

に1市を加えた6市町村へのアンケート調査の結果、広域的に取り組むのも厳しい状況である。引き続き、近隣市町村と意見交換をしながら調査したい。

問

私は皆さんが広域にこだわるのがよく分からない。今、沖縄県には20余りの葬祭場、火葬場があり、沖縄本島には13ある。20幾つある中、広域はいなせと南斎場、2つだけだ。料金的に言っても北部のほうは1万円、1万5000円が主で、料金的にも広域のほうが高い。広域にするメリット、デメリットを教えてください。

町長

広域というのはそれぞれの財政状況がある。従って、一市町村でなかなか対応できない財政的なものについていろいろな補助事業のメニュー

問

応急的に大型の水中ポンプを設置して強制排水の対応を。

建設部長

排水ポンプの利用の仕方を考える必要があるのか、今後の検討として捉えたい。

問

町民は負担感を感じる、どういう形で説明するのか。

■下水道料金改定、町民に説明を!!

問

町民は負担感を感じる、どういう形で説明するのか。

■重層的支援体制の構築を!!

問

社会福祉計画や地域福祉活動計画の最大の目的は、重層的支援体制の構築である。その取り組み

また体育館フロアのワックス剥がれは、大規模補修となる為、子供の安全が危惧されるものについては、応急対応する。



南部広域市町村圏事務組合が管理運営を行っている公営斎場「いなんせ斎苑」

その他の質問
○東部消防士救助術全国について
○9月11日に行われた西原町議会議員選挙について

現在県の冠水対策素案についての確認作業を指示。今後については、ライブカメラの設置検討、パトロールの強化等を指示している。

問 被災者に対し、義援金制度を構築してもらいたい。

町長 今大変な気持ちは理解している。義援金や見舞金など内部検討したい。

問 小波津川の断面を確保する為、既存の河川も活かしながら、もう一方を折点から真直ぐ下流に推進工法で確保すべきと考える。

建設部長 流入する水は全て流域外。町域の23%は、小波津川流域である為、その対策が最優先である。その次に、指摘の課題の改善を行いたい。

上下水道課長 広報紙12月号に間に合うのであれば、掲載する。

■学校施設や備品等の点検結果は!!

問 学校施設や備品等の安全点検結果と不備についての対応は。

教育部長 バレーボール支柱の老朽化について、各小学校1コート分の支柱購入を行う。

スケジュールを伺う。

福祉部長 今年度、関係機関及び庁内関係課と個別の意見交換を行い、今後は移行準備事業の実施に取組む自治体の情報を得ながら、進め方を検討していく。



■物価高騰による学校給食の影響は

問 物価高騰により、多くの町民の暮らしに影響が出ている状況だが、学校給食への影響はあるか。

教育部長 物価の高騰による学校給食への影響は少なからずあるが、栄養価を下げることはないようにしながら、価格の安い業者を選定するなど工夫し保護者の負担にならないように取組んでいる。

問 県や国へ給食費の材料の高騰やインフラ高騰に対して補助の要望をできないか。

町長 他の高騰等については、国の方からいろんな支援金があるのでその活用とかしながら対応できるのはしっかり対応していきたいと考えている。

■防災への取組み

問 現在の地域防災計画が平成30年で止まっているが、今後改定する予定はあるか。

環境安全課長 様々な時代にあつたところでまだ十分に追いきれてない部分もあるので、内部で中身の検証や近隣市町村等の動向も調査しながら改定の方で努力したい。

問 早めに防災計画を立ててもらいたい。

町長 強化化計画と合わせて防災計画を見直しながら作っていききたい。

その他の質問

○学校通学路の安全 ○琉球大学移転跡地利用 ○乳幼児健診について ○母子健康手帳のリニューアル ○マイナンバーカードの普及率 ○デジタル田園都市構想



議員 儀間 駿太郎



■学校環境について

問 本町内の小中学校に設置されている学校内空調設備の利用規定はどうか。

教育部長 空調機の稼働期間は5月1日～10月31日までの期間となっており、設定温度は27度となっている。た

問 学校側から早めの修繕要望等はあるか。

教育総務課長 学校側からの修繕依頼があり、授業環境が大変悪いとの話がある。部品納品などに時間がかかっており、学校側で空き教室等を活用してもらいながら対応してもらっている。

だし、学校現場で気温や室温が高い場合など、その現状に合わせて臨機応変に対応している。

問 現在ある空調設備の稼働状況は。

教育部長 全ては稼働していない。学校から空調機の不具合の報告があれば、すぐに対応しているが部品の納入の遅れや高額な修繕については、これから発注するものもある。

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



設置完了したカーブミラー

県営内間団地の不法投棄車両

問 県営内間団地の放置車両は町有地、県有地ではなく、個人有地。

放置車両撤去が厳しい、しかし、放置車両は美観を損なうだけでなく、放置車両があると不法投棄をする人が増え、新たな放置車両が出る、火災の原因になるかもしれない。放置車両を特定するには陸運事務所が、軽自動車協会、地権者の方から委任状を取って、陸運事務所が、軽自動車協会に車両番号を照会し、持ち主を教えてもらうことはできるか。または自治会長が地権者の方から委任状を取って、車両番号を照会して、持ち主を教えてもらうことはできるか。

西原中学校の空調設備工事

問 西原中学校の冷房設備修繕の工期は。

教育部長 西原中学校の空調設備修繕費は、9月議会で補正予算869万円の議決、これから入札など進め工期は4か月程度を見込んでいます。

その他の質問

○交通行政について ○災害対策について ○福祉行政について

環境安全課長 通常の車両の場合は

我謝に横断歩道設置を

問 字我謝（682）付近の子供の通学安全対策で横断歩道の設置要望が出ているが。

建設部長 我謝自治会から要望書が提出、浦添警察署、土木課、環境整備課の合同で現地調査。警察から横断歩道の設置は厳しいと回答、役場で対応可能な横断帯グリーンベルトは問題がないとのこと、町で設置に向け検討している。

西原ハイツのカーブミラー

問 西原ハイツさざなみ保育園へのT字路へカーブミラーの設置要望が出ているが。

建設部長 令和3年10月に要望書が自治会より提出、カーブミラー設置工事は今月の発注を予定。

西原町議会事務局のホームページへようこそ！



<http://www.town.nishihara.okinawa.jp/diet/question.html>



西原町議会のホームページでは、議会の仕組みや議員紹介等をはじめ、各議員の一般質問を動画で見することもできます。

また、定例会や臨時会の日程や内容、結果など、さまざまな議会の情報がいっぱい！ぜひご覧ください！



議員紹介



動画配信



みなさんからの 陳情 はこうなりました



	件 名	提 出 者	採択方法
陳情 第902号	コロナ特例減免における国費10割負担の復活と市町村における国保料(税)負担の軽減のための支援を求める陳情書	沖縄県 社会保障推進協議会	配布
陳情 第903号	介護保険利用料原則2割負担化、ケアプラン有料化、要介護1・2の市町村事業への移行などの制度見直しの中止と、国庫補助を増額し介護保険料高騰を抑え、高齢者の尊厳と生活を守るよう介護保険制度の抜本改善を求める陳情書	沖縄県 社会保障推進協議会	配布
陳情 第905号	中国共産党による臓器収奪の即時停止並びに人権状況の改善を求める意見書の提出に関する陳情		配布
陳情 第906号	子どもの新型コロナウイルス等、遺伝子に関わるワクチンの個別接種券一律送付の中止を求める陳情書	オンブズママネットワーク おきなわ	配布
陳情 第907号	西原町保育施策の拡充について(陳情)	西原町保育連絡協議会	採択
陳情 第908号	地元産品奨励及び地元企業優先使用について(要請)	西原町商工会会長 下地浩之 西原町観光まちづくり協会 近藤哲司	本会議即決 (採択)
陳情 第909号	県産品の優先使用について(要請)	公益社団法人 沖縄県工業連合会	本会議即決 (採択)
陳情 第910号	「駐留軍関係離職者等臨時措置法」の有効期限延長に関する陳情	全駐留軍労働組合 沖縄地区本部	採択
陳情 第911号	持続可能な農業生産基盤の確立に関する要請	沖縄県農業協同組合	採択
陳情 第912号	令和5年度理科教育設備費等補助金予算計上についてお願い	日本理科教育振興協会	本会議即決 (採択)
陳情 第913号	令和5年度福祉施策及び予算の充実について(要請)	沖縄県社会福祉施策・予算 対策協議会	本会議即決 (採択)
陳情 第914号	台湾・沖縄有事を想定した避難実施パターンを早急に作成することを求める陳情	一般社団法人 日本沖縄政策研究フォーラム	配布
陳情 第915号	国民保護の特殊標章について、早急にテレビ、ラジオ等のメディアを活用し、その存在と重要性を啓発することを求める陳情	一般社団法人 日本沖縄政策研究フォーラム	配布
陳情 第916号	第2尚氏第23代当主尚衛氏のご意向に沿って、沖縄の人々を先住民族とする国連勧告の撤回を求める意見書の採択を求める陳情	沖縄の人々を先住民族とする 国連勧告の撤回を実現させ る沖縄地方議員連盟	配布
陳情 第917号	沖縄県知事に国連に基地問題を訴える前に県民に対して「沖縄の人々を先住民族とする国連勧告」の説明の実施を求める意見書の提出を求める陳情	沖縄の人々を先住民族とする 国連勧告の撤回を実現させ る沖縄地方議員連盟	配布

〈継続審査分〉

陳情 第904号	入札及び契約制度価格の適正化等に関する陳情	沖縄県印刷工業組合	継続審査
----------	-----------------------	-----------	------



県議長会議員職員研修会の様子



表紙の**題字**と**写真**を
お寄せください!

あなたの作品を『議会だより』に掲載しませんか?

表紙の**題字**（『議会だより』の文字。横書き）と**写真**を募集しています。
うまいへたは関係ありません。こどもから大人まで、生き生きとした題字
と写真をお待ちしています。



送付先／議会事務局（担当：当真）
Tel.945-5122 Fax.945-5045
mail: gikai_jimu@town.nishihara.okinawa.jp

題字
制作者

西原町上原

“ひとこと”
いろいろな空の場面を
まとめて、
楽しいかんじにしました

たけ とみ たか こ
武富 誉子さん



※写真撮影のためマスクを外しています。

第11期 広報調査特別委員

後列：左から 大田 實 委員、與那嶺良樹 委員、与儀 清 委員
前列：左から 伊計裕子 副委員長、山城勝貴 委員長、大城誠一 委員

9月議会の傍聴者

延べ人数

10人

西原町議会事務局
TEL:098-945-5122
(要望は議会事務局あて)

西原町議会
広報調査特別委員会
委員長 山城勝貴

町民の皆様にとって、読みやすく、わかりやすく、親しみやすい紙面づくりのために各委員とともに工夫を凝らしながら取り組んでまいります。
今後ともよろしくお願いいたします。

令和4年9月11日に任期満了に伴う西原町議会議員選挙が行われ、町民の皆様の負託を受けて、19名の新体制での町議会がスタートしました。
議会だよりを担当する議会広報調査特別委員会も6名の新体制で構成されています。
議会だよりは議会と町民の皆様を結び懸け橋として、議会活動を可視化し広く町民の皆様へお知らせする重要な役割を担っています。

ごんぎん

